

流員 (CIR) 20周年

この笑顔を見ると、懐かしいエピソードもたくさん思い出しますね。
CIR (国際交流員) の皆さん、お疲れ様でした。そして、今後のご活動に期待です！

(CIR) (平成9年～平成29年) 紹介

4代目



ラーナ・シムズ
2003年～2004年

5代目



アラーナ・クリストフ
2004年～2006年

6代目



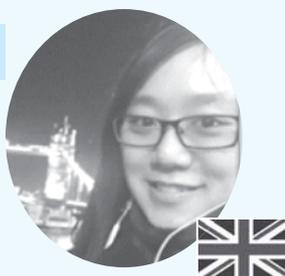
ギム・デゴン
2006年～2008年

10代目



チェルシー・ゲイタ
2014年～

11代目



ウォン・チンイン クレオ
2016年～

1代目



エリン・フィッツジェラルド
2016年～
西ノ島町初のALT

「JETプログラム」について

JETプログラムとは日本の総務省・外務省・文部科学省ほか関係省庁が1987年から行っている取組です。「語学指導等を行う外国青年招致事業」とも呼ばれ、参加者は外国語指導助手、国際交流員、スポーツ国際交流員という3つの職種のどれかに従事します。

ちなみに、国際的な取組でもあるため、英語の職名もあり、それぞれ3文字のALT、^{エーエルティー}CIR、^{シーアイアル}そして^{エスイーエー}SEAです。

3つの職種ってどんな仕事をするの？

職種	仕事内容	全国参加者数 (2016年7月1日時点)
外国語指導助手 (ALT)	主に学校や教育委員会に配属され、日本人外国語担当教員の助手として外国語授業に携わり、教育教材の準備や英語研究会のような課外活動などに従事します	4,536人
国際交流員 (CIR)	通訳・翻訳、国際事業企画、学校訪問などを通して国際化や国際理解の推進のために日本各地の地方公共団体で勤務しています	410人
スポーツ国際交流員 (SEA)	オリンピック級の身体能力を持つ者もあり、学校などでスポーツ指導を行います	6人

西ノ島町国際交

2017年は西ノ島町制60周年はもちろん、CIRの20周年です。この20年間で、国際交流員とALTが12名も来町し、様々な企画を行いました。

これまでの西ノ島町国際交流員

1代目



クリスティン・ダウフィン
1997年～2000年

2代目



ベツツイ・マイヤス
2000年～2002年

3代目



アシュリー・ブルックス
2002年～2003年

7代目



ジェームス・ベル
2008年～2010年

8代目



ミッシェル・カニフ
2010年～2013年

9代目



レイチェル・デルポゾ
2013年～2014年

国際交流員（CIR）ってどんな人？

データで言うと、JET参加者（CIR・ALT）は全国では40ヶ国から来ていますが、平均年齢が23歳で、英語圏の方が一番多いです。積極的で日本の文化に興味を持っている方が一番多いでしょう。自国の大学を卒業してすぐ来日する人もいれば、社会人になって数年働いてから来日する人もいたり、知識も経験も様々な人材です。

西ノ島町だけでは、親戚が日本に住んでいた人や3か国語を活かして事務局で働いた人、宝塚劇団が好きな人もいますので、皆さんは趣味もバックグラウンドも興味深いですね。

西ノ島なら交流員もあなたも「親善大使」

西ノ島にはCIR2名・ALT1名がありますが、交流の場を作るために毎月様々な事業を行っています。これまでに、島外の国際交流員も交えての様々な国の文化を体験できるイベント「世界旅行 in 西ノ島」や、出身国等の歴史や文化を紹介する「カルチャークラブ」などを行いました。（今月もカルチャークラブや上映会や英会話クラブがあります。裏表紙をぜひチェックしてください。）

また国際理解の推進を求めて来日している外国人若者のCIR・ALTは仕事が終わっても、国際交流中だと言えるかもしれません。

その場で会話が出来なくても、名刺などを訪ね、町内のイベントやサークルに誘ってみるのもいいかもしれません。ぜひ、あなたも「親善大使」になって隠岐・西ノ島、そして自分の好きな日本のいいところを紹介してあげましょう！